

## 第14回グリーン購入大賞

### — J A おうみ富士が審査員奨励賞を受賞 —

**グ**リーン購入ネットワーク（事務局：東京都中央区 会長：平尾雅彦氏 東京大学大学院教授）では、グリーン購入に関する優れた取組みを表彰する第14回グリーン購入大賞の受賞団体を決定し、この度J A おうみ富士が審査員奨励賞を受賞しました。おうみんちの「環境保全・健康配慮型、農・食生活の実現」への取組みが全国的にも優れた取組みであることが認められ、19日には宮城県で表彰を受けました。（後列左端：馬淵常務）



**5**月～7月に応募のあった取組みの中から、一次と二次の審査を通過し、今回の受賞となりました。大賞・環境大臣賞の鹿児島県、大賞・経済産業大臣賞の沖縄県E V普及促進協議会をはじめ、優秀賞、奨励賞を含む計14団体を選出。県単位や大企業の大々的な取組みが表彰される中、単位農協であるJ A おうみ富士が見事肩を並べる事となりました。

**グ**リーン購入大賞とは、環境に配慮した製品やサービスを優先的に購入する「グリーン購入」の普及拡大に取り組む団体を表彰することにより、一層の取組みを奨励するとともに、活動事例の紹介を通じてグリーン購入の普及を目的としています。具体的な成果・実績と、これまで継続的な取組みができてい



るかどうか、発展性・独自性・先進性があるかどうかを特に重視し、グリーン購入に関連して優れた取組みを行う団体として今回審査員奨励賞の受賞となりました。

#### J A おうみ富士のグリーン購入に関する取組み

**環境保全・健康配慮型、農・食生活の実現 ～参加して、知って、見て、食して満足、地産地消！！～**

おうみ富士農業協同組合が直営する「ファーマーズ・マーケットおうみんち」は、地元の農家が生産した季節感あふれる農産物を扱う「農産物直売所」を活用して地域食文化を伝承する「地域食材加工施設（バイキングレストラン）」、生産者と消費者が交流できる「交流施設」の3拠点を中心とした食の地産地消の拠点です。

おうみんちは、環境保全型店舗運営（販売台の敷物に古新聞を活用、農産物搬入時の通い箱による循環搬入等）と同時に、更なる地産地消活動を展開しています。更なる地産地消活動とは環境保全・環境配慮型、農・食生活の実現のための運動であり、「参加して、知って、見て、食して」を活動の中心に据え、3つのエコ活動「作ってエコ活動・食してエコ活動・つなげてエコ活動」に集約されます。

生産者を産物でわけけるのではなく環境意識（滋賀県環境こだわり農法など）に基づいてグルーピングしたり、農産物の食仕方や保全方法を伝える手段を構築して地産地消が代々受け継がれるよう事業展開したり、キッズ・ファーマーズや都市農村交流、地域資源である菜の花の活用などを展開したりといった、「作り手よし、買い手よし、地域よし」の「三方よし」の実現に向けて取り組んでいます。

#### 審査員の評価

単なる小売りにとどまらず、環境保全型店舗運営や消費者に積極的に環境に係わる情報を提供しているなど、「生産者・消費者双方に「環境や健康」を意識してもらう活動が高く評価された。環境こだわり農法とGAPに挑戦する農家の優位的販売や、環境こだわり農産物購入に対するプレミアの付与と地域に還元できるスキームの構築などが検討されており、地域への発展的な地産地消が期待できる。